



## [今月の聖書]

では、なんとやっているか。「言葉はあなたの近くにある。あなたの口にあり、心にある」。この言葉とは、わたしたちが宣べ伝えている信仰の言葉である。すなわち、自分の口で、イエスは主であると告白し、自分の心で、神が死人の中からイエスをよみがえらせたことと信じるなら、あなたは救われる。なぜなら、人は心に信じて義とされ、口で告白して救われるからである。(ローマ 10:8-10)

「十字架の言は、滅び行く者には愚かであるが、救にあずかるわたしたちには、神の力である。しかしわたしたちは、十字架につけられたキリストを宣べ伝える。このキリストは、ユダヤ人にはつまづかせるもの、異邦人には愚かなものであるが、」(I コリント 1:18、23)

「彼らがあなたがたを引き渡したとき、何をどう言おうかと心配しないがよい。言うべきことは、その時に授けられるからである。語る者は、あなたがたではなく、あなたがたの中であって語る父の霊である。だから人の前でわたしを受け入れる者を、わたしもまた、天にいますわたしの父の前で受け入れるであろう。しかし、人の前でわたしを拒む者を、わたしも天にいますわたしの父の前で拒むであろう。」(マタイ 10:19、20、32、33)

「しかし、神が光の中にいますように、わたしたちも光の中を歩くならば、わたしたちは互に交わりをもち、そして、御子イエスの血が、すべての罪からわたしたちをきよめるのである。もし、罪がないと言うなら、それは自分を欺くことであって、真理はわたしたちのうちにはない。もし、わたしたちが自分の罪を告白するならば、神は真実で正しいかたであるから、その罪をゆるし、すべての不義からわたしたちをきよめて下さる。もし、罪を犯したことがないと言うなら、それは神を偽り者とするのであって、神の言はわたしたちのうちにはない。」(I ヨハネ 1:7-10)

お元気で過ごしてはいかがでしょうか。今年は「超越信仰」という標語を頂きました。人知を越えた働きをなさる神を私たちは信じています。旧約の大預言者エリヤは、偶像信者に失墜したアハブ王に命を狙われながらも「主は唯一の神である」と証し続けました。今月は信仰とは言葉をもって主を証し続けることであることを学びましょう。「この言葉とは、私たちが宣べ伝えている信仰の言葉である」(ローマ 10:8)。キリスト教は「信仰の言葉」を伝える宗教です。言葉を換えて言えば「告白信仰」です。旧約の告白は「トーダー、ヤーダー」(ヘブル語)で感謝、賛美と関連して用いられました。神の恵みを知った時、同時に自分の罪を知って「罪の告白」に導かれました(ネヘミヤ 1:4-11、詩編 32)。新約聖書ではホモログオー(ギリシャ語)と言って、キリストを救い主と告白する「宣言」として用いられています。エリヤのように心の中で信じている事を、宣言するとき、迫害がありますが、救いが本物になります。示された「罪の告白」をする時、神の愛と恵みを体験します。最も具体的な告白は、毎週の「公同礼拝」です。主のご苦難を偲ぶレントにしっかり証をする生き方を模索しましょう。大いなる祝福がありますように。

(お知らせ)

## \* 地区集会のご案内

3月13日(火) 13:00 CFI 横浜集会(福音喫茶メリー TEL 045-231-6773)

3月14日(水) 11:00 CFI 賛美の集い(自由が丘チャペルセンター)、14:00 ジョイコーラス

\* 第三水曜が祭日のため1週間繰り上げます

3月20日(火) 13:00 CFI 千葉集会(京葉銀行文化プラザ7F TEL 043-202-0800)

\* 集会前 12:00 より1階レストランで感謝食事会。一応会場での最後の集会になります。

\* 3月15日(木) 11:00 バイブルアカデミー(自由が丘チャペル、要登録、受講料1回3000円)

\* 3月11日(日) 16:00 東日本大震災復興支援超教派一致祈祷会、7周年記念祈祷会(淀橋教会)

◎ライトハウス田園調布チャペルは2月より自由が丘チャペルに移転しました。祝福された祈りの家です。

是非おいで下さい。

「恵みをあなたにも」

梅木好彦（京都府）

私の知人のクリスチャンを紹介します。彼を初めて見たのは、もう20年も前でしょうか。全国盲ろう者大会に参加したときに、しっかり発言されている方がいました。全盲ろうだけでなく、顔の骨が異常に大きく変形していたので、たいへんなご病気と闘っておられることが、察せられました。

その後盲ろう者の機関誌で、彼がキリスト教会に通っていること、教会のみんなに愛されて感謝している、と書かれていたのを読んでしっかりした信仰を持って歩んでおられることを知りました。ただそのころは、私はまだ教会に通っていませんでしたので、特に交際もなく、でも心の底には強烈な印象が残っていました。

1 去年の暮れに、あることがきっかけで、彼とメールのやりとりをするようになりました。彼はもちろん見えませんので私の家内と同じように、パソコンと点字ペンディスプレイを繋いでメール交換をします。そのパソコンの知識はすばらしく、わたしもいろいろ教わりました。私が洗礼を受けたことを告げますと、とても喜んでくださいました。お互いに信仰に歩むことの喜びを語り合いました。

彼はこのように書いてきました。「私が神さまから、こんなに多くの恵みをいただいているのだから、少しでもそれを他の人にも分かち合いたい。それで私は今、口語訳の聖書と、エスペラント語の聖書のデータ化をこつこつやっています。」少し解説しますが、現在口語訳の点訳聖書はありますが、それは紙に点字を打ち出されたものでパソコンなどで読めません。新改訳聖書は点字データ化されていて、点字ペンディスプレイに入れて持ち歩くことができます。それで、口語訳聖書になれた視覚障害者や盲ろう者が、それをデータで持ち歩けるように、また、検索など簡単にできるように、彼はこつこつパソコンでデータ化してくださっているのです。（普通字の聖書のデータはありますが、スクリーンリーダーで読みますと、難しい言葉など、読み間違いが多いです。）すでに全部データ化はしたが、今は二次校正、三次校正にかけられているとのこと。これが完成すれば、多くの視覚障害者、盲ろう者の福音となることでしょう。普通なら、目が見えなくなった、耳が聞こえなくなった、顔が異常に変形してしまった、そのことに恨みや苦しみを持つであろうに、彼のように信仰によって、それを恵みと受け止め、さらにはその恵みを他の人たちにも分かち合いたいと、ささやかに奉仕を続ける、その姿に真のクリスチャンの姿を見たのでした。私も彼に倣って、ささやかな奉仕を続けたいと願っています。



◇投稿募集のご案内◇

皆様の原稿をお待ちしています。

毎月のCFIニュースレターの裏面に順次掲載させていただきたいと思います。

- ・すくい体験のあかし
- ・個人的願いや祈り
- ・信仰生活のあかし
- ・主にある交わりのレポート
- ・最近気づいたことや発見したみことば
- ・CFIメッセージの感想や教えられたこと

何でも結構です。800字程度で、手紙、ファックスかメールで送ってくだされば幸いです。